



まちの話題



祝 長寿祝品贈呈式 家族と100歳祝う

本明カツさん（三ヶ尻川口田）は9月5日、満100歳の誕生日を迎えました。7日に快老苑金ケ崎で行われた長寿祝品贈呈式では、施設関係者ら約100人が集まり長寿を祝いました。カツさんは故・佐一さんと結婚し農業をしながら3人の子どもを育て、孫7人、ひ孫16人、やしご1人に恵まれました。温泉と裁縫が好きなカツさん。特に和裁が得意で、ドライフラワーを作っていたこともあります。長男の順一さんは「カツさんはポジティブで前向きな考え方の人。まずは101歳を目指してがんばってほしい」と話していました。



家族と100歳を祝うカツさん（撮影時のみマスクを外しています）



家族に囲まれ笑顔を見せるキヨミさん（撮影時のみマスクを外しています）



祝 笑顔で長寿を祝う 元気100歳誕生日

石川キヨミさん（西根二ツ堤）は8月15日、満100歳の誕生日を迎えました。キヨミさんは19歳のころ故・正男さんと結婚。正男さんの農業を手伝いながら3人の子どもを育て、孫5人、ひ孫4人に恵まれました。若いときから手先が器用なキヨミさんは、子どもの洋服を作ったり着物を織ったりしていました。現在は折り紙を折ったり、農作業の手伝いをしています。長寿の秘訣は毎日の日課をかかさず行うことというキヨミさん。この日は「100歳を迎えるまでびくびくだった。たくさんの人にお祝いしていただきありがたいです。これからもよろしくをお願いします」と話していました。



避難所開設運営訓練 コロナ禍での避難所運営を訓練

自主防災組織のリーダーや民生委員、職員を対象とした避難所開設運営訓練が、8月21日から31日にかけて、各地区生涯教育センターで行われました。新型コロナウイルス感染症対策を盛り込んだ避難所の運営方法について知識を深めました。参加した菊地成子さんは「訓練に参加することが大切だと感じた。いざという時の参考にしたい」と話していました。



受付手順を確認する参加者たち

応募作品をスクリーンに映して審査する審査委員



夏 リモート夏まつり審査会 のにぎわいを創出

金ケ崎リモート夏まつりの審査会は9月2日、金ケ崎町商工会で開催されました。町内外から応募された24作品から、金ケ崎音頭大賞など9つの賞について審査しました。町観光協会の高杉郁也会長は「初めての取り組みだったが皆さんに参加してもらいにぎわいにつながった。今後へ大きな一歩になった」と話していました。なお、応募作品や審査結果は動画配信サイトYouTubeの同協会チャンネルで配信されています。

仲間とともにたすきを繋ぐ

胆江地区中学校継走大会は9月5日、胆沢陸上競技場で開催され、胆江地区の中学校23チームが出場し競い合いました。金ケ崎中学校からは3チームが出場し、女子の部では2位、男子の部では3位の好成績を収めました。金ケ崎中学校3年の平澤奈桜さんは「これまで辛い練習だったがみんなでたすきを繋いで、県大会出場を決めて良かった」と話していました。



たすきを受け取り力強く走り出す選手

町長に宣言文を読み上げる名和農地小委員長



農地パトロール出発式 農地の保全を図る

令和2年7月20日から新体制となった町農業委員会は、9月9日から11日にかけて、町内全域で農地の利用状況調査を行い、荒廃農地の実態把握や違反転用防止に努めました。9日に役場庁舎前で行われた出発式では、名和和弘農地小委員長が「荒廃農地の改善と違反転用の防止に全力で取り組む」と誓い、パトロールに出発しました。